

テレワーク状況と セキュリティに関する アンケート調査レポート

2020年7月22日

日本スマートフォンセキュリティ協会（JSSEC）
PR部会 副部長兼調査分析WGリーダー 小椋 則樹
（ユニアデックス株式会社）

- 一般有業者の新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク（在宅勤務）の状況について把握する。
- テレワーク（在宅勤務）時のネットワーク接続環境や認証の方法など、テレワーク中に利用しているシステム、機密情報の扱い方や機密情報の保管場所、情報セキュリティなどについて把握する。

調査対象：全国20～60歳以上の有業者男女

調査時期：2020年5月

調査方法：Webアンケート

調査フロー：下記のとおり実施

（1）スクリーニング調査：4,203名

新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク
（在宅勤務）の実施状況について調査

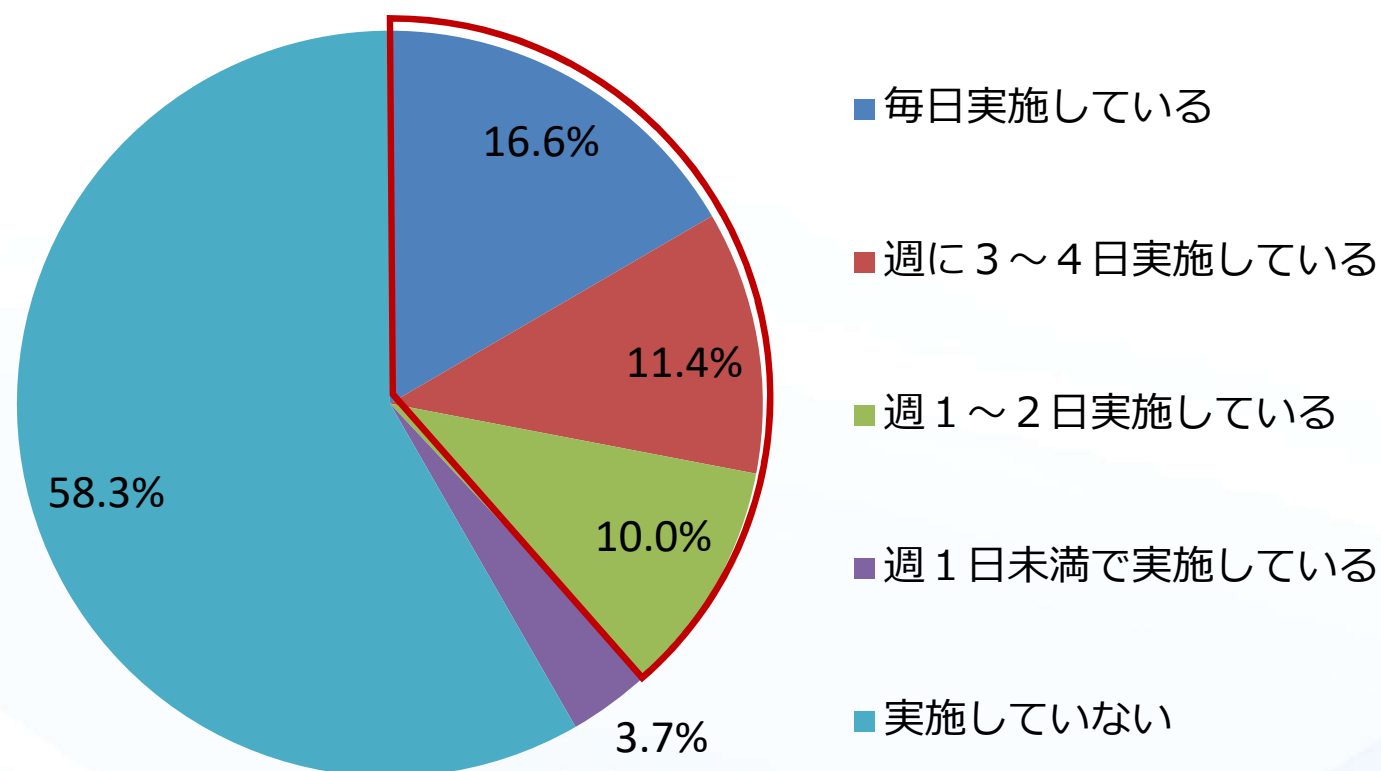
（2）本調査：437名

テレワークを毎日もしくは週3日以上のテレワークを実施している方に、テレワーク時のネットワーク接続環境、認証方法や機密情報の扱いや保管場所、情報セキュリティなどについて調査

スクリーニング調査結果

1. テレワーク（在宅勤務）の実施状況

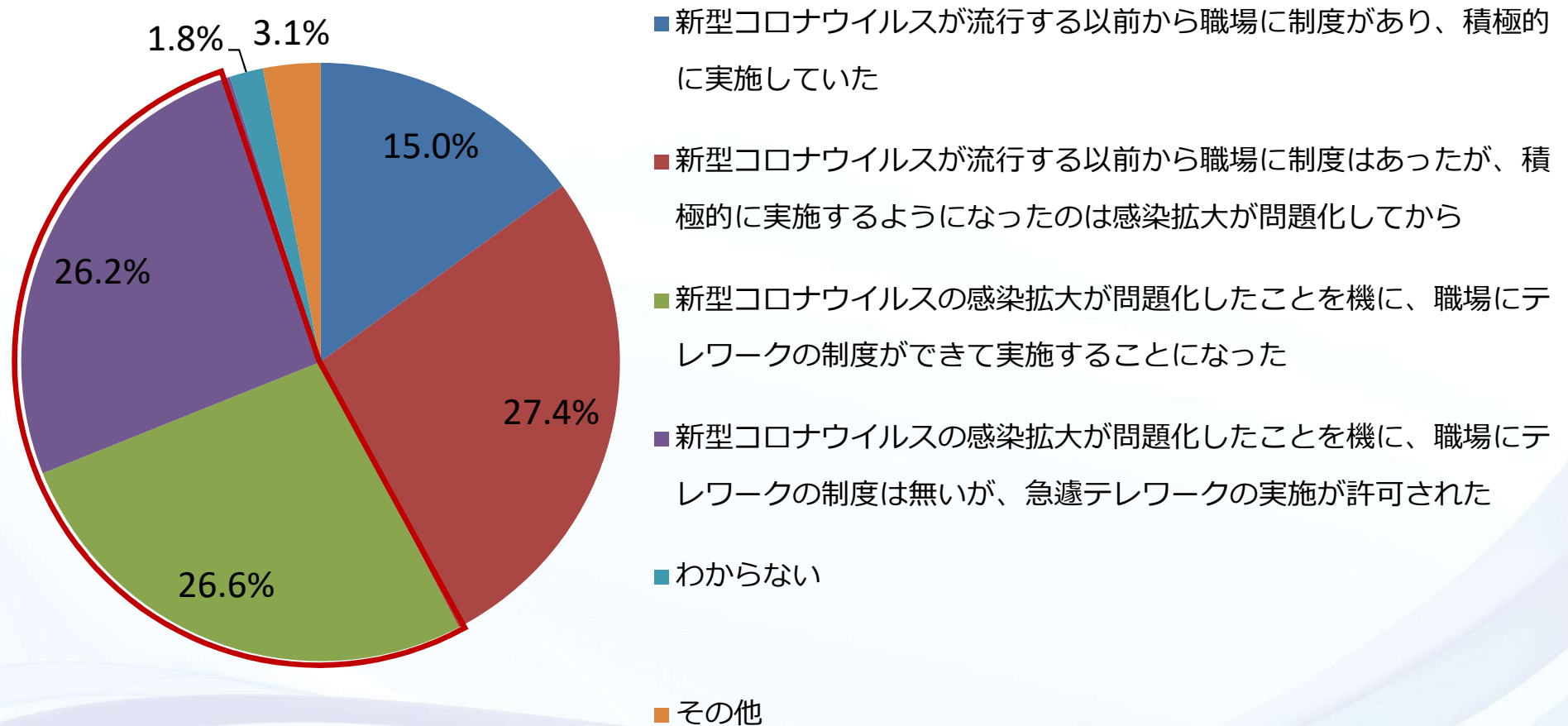
「あなたは現在テレワーク（在宅勤務）を実施していますか。」という質問には、38%が「週1日以上実施している」と回答した。



N=4,203

2. テレワーク（在宅勤務）実施のきっかけ

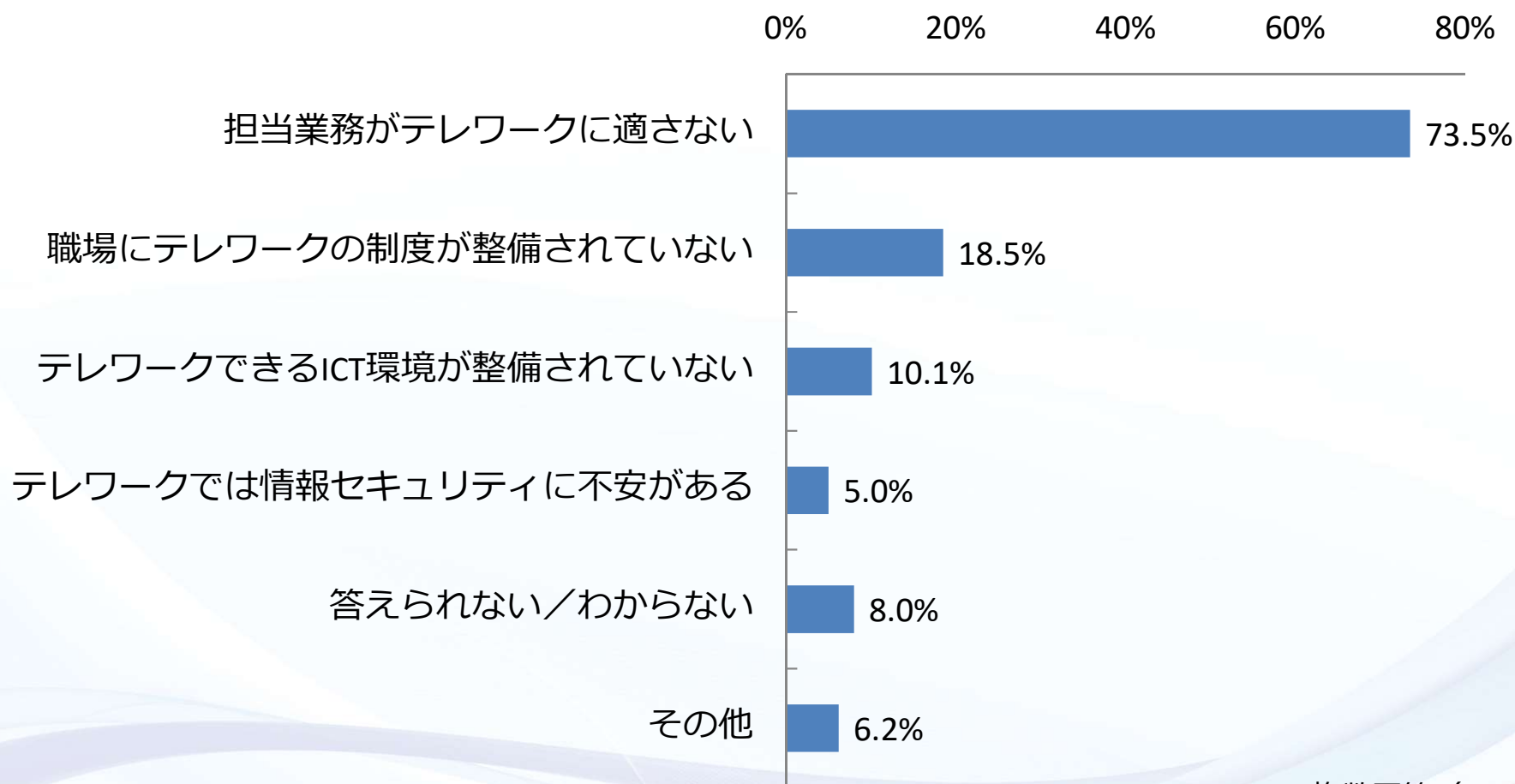
「テレワークを実施するようになったきっかけを教えてください。」という質問には、52.8%が「新型コロナウイルス感染拡大を機に」テレワークを実施したと回答した。



N=1,751

3. テレワーク（在宅勤務）を実施しない

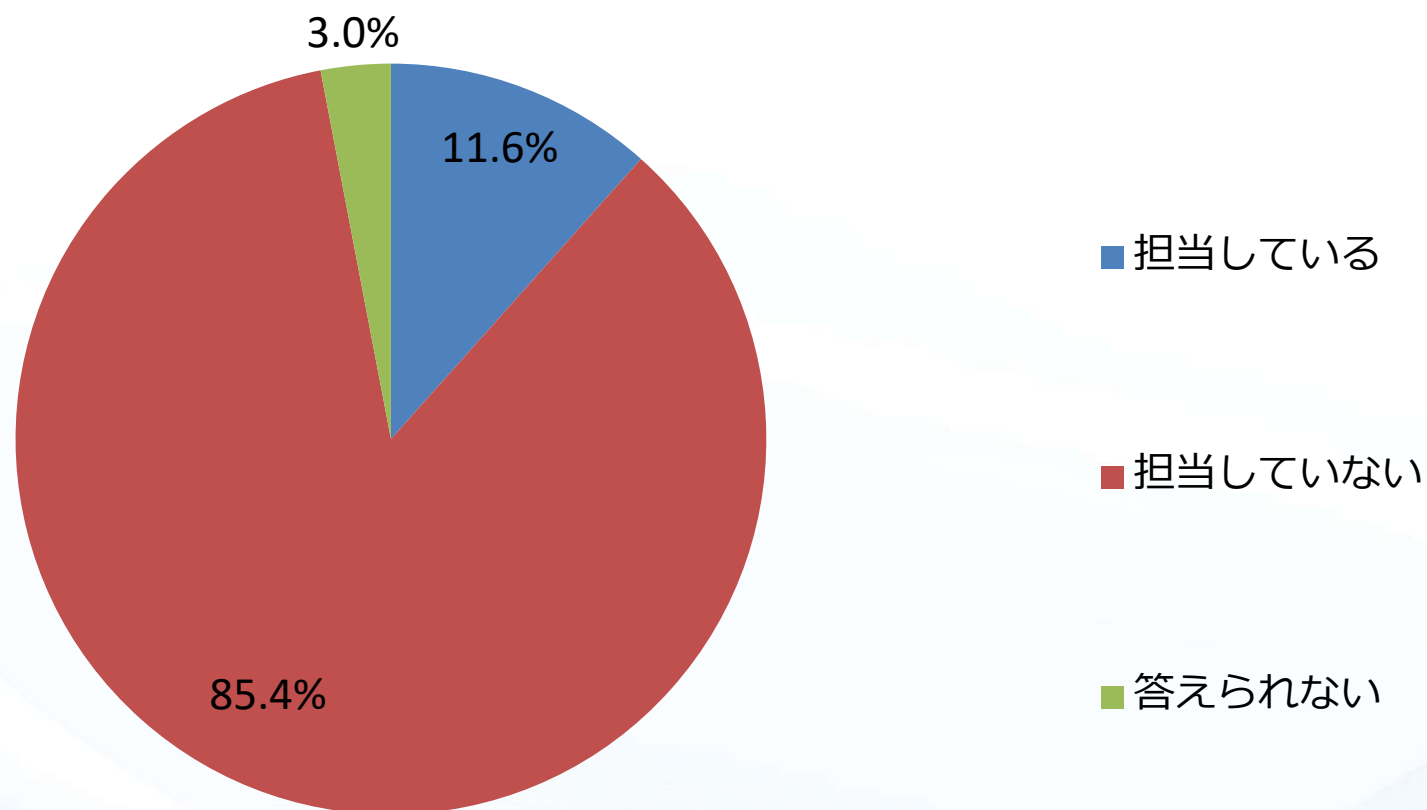
「テレワークを実施しない理由をお聞かせください。」という質問には、73.5%が「担当業務がテレワークに適さない」と回答した。



複数回答（N=2,452）

4. システム管理にかかわる業務の担当

「あなたは現在、勤務先でテレワークシステムの管理にかかわる業務を担当していますか。」という質問には、11.6%が「システム管理を担当している」と回答しており、回答者の大半が「利用者」となっている。

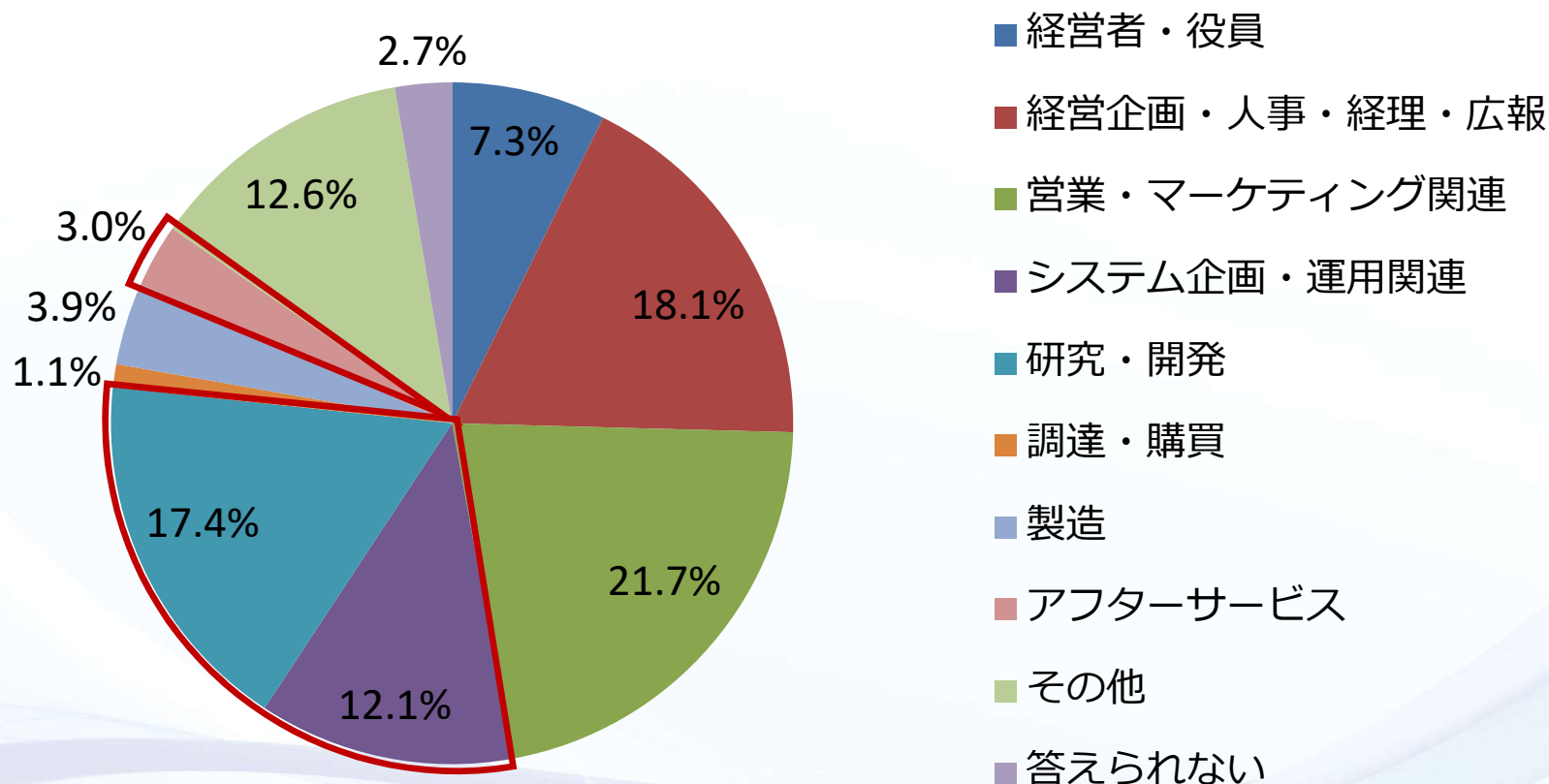


N=4,203

本調査結果

1. 主に従事する職種について

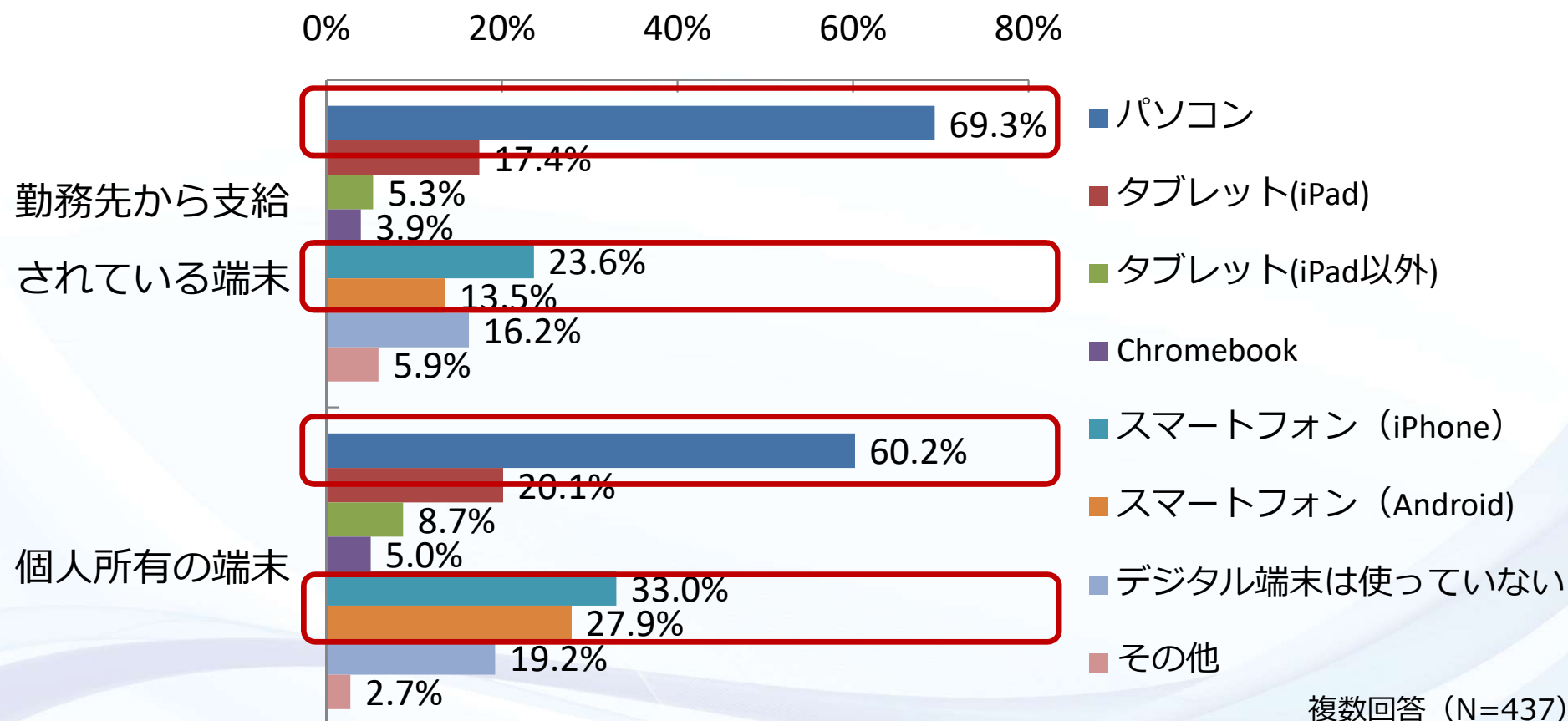
「あなたの職種を教えてください。兼務をされている方は、おもに従事されている職種についてお答えください。」という質問には、「営業・マーケティング」だけでなく、「システム企画・運用」「研究・開発」「製造」に関わる職種でもテレワークをしたと回答した。



N=437

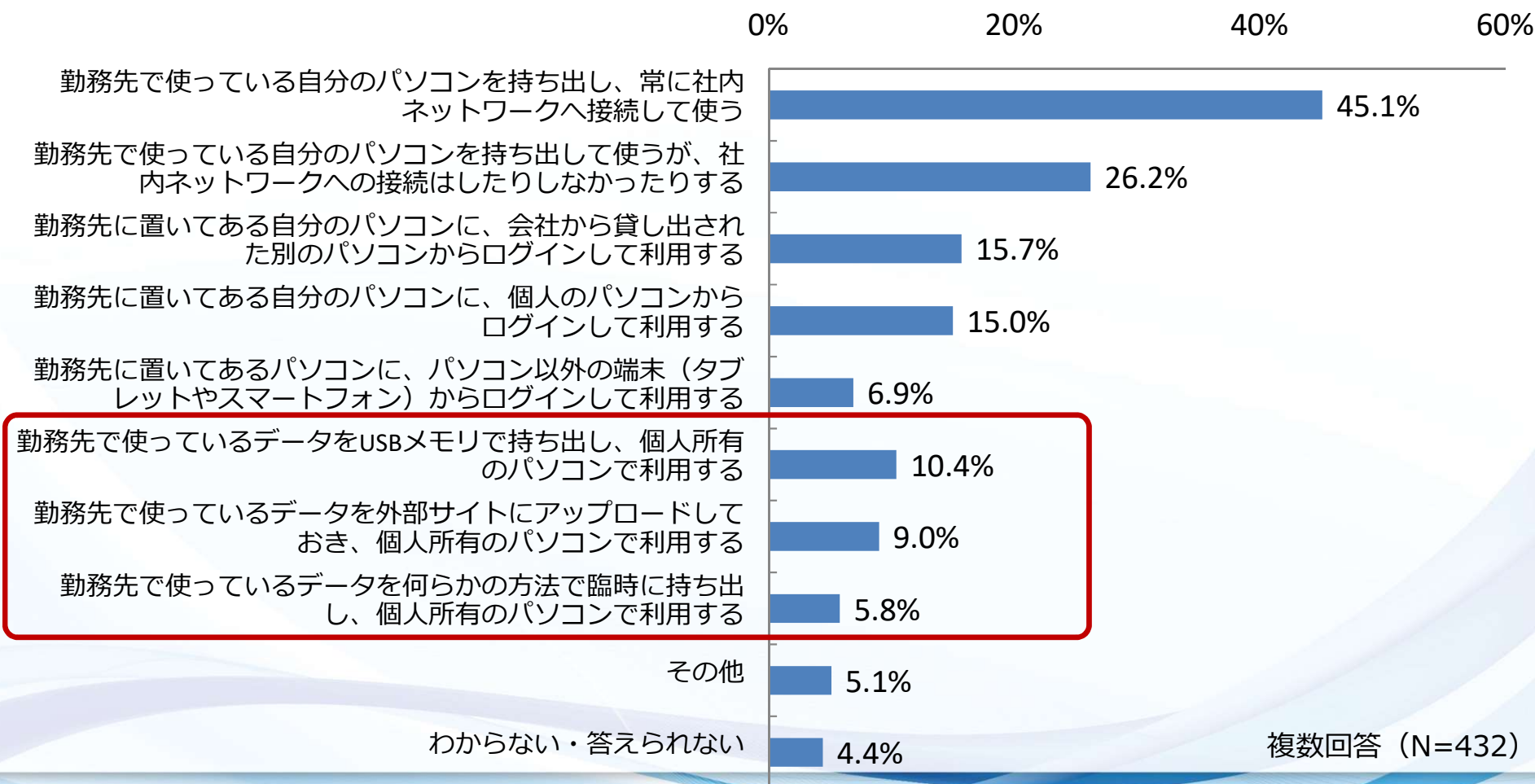
2. 利用端末の状況について

「あなたはテレワークで、どんな端末を使っていますか。また、それは勤務先からの支給ですか、個人所有の端末ですか。」という質問には、「勤務先支給のパソコン」に次ぎ、「個人所有のパソコン」を利用するケースが多く「新型コロナウイルス感染拡大を機に」テレワークを実施した回答者が多かったことが要因ではないかと思われる。



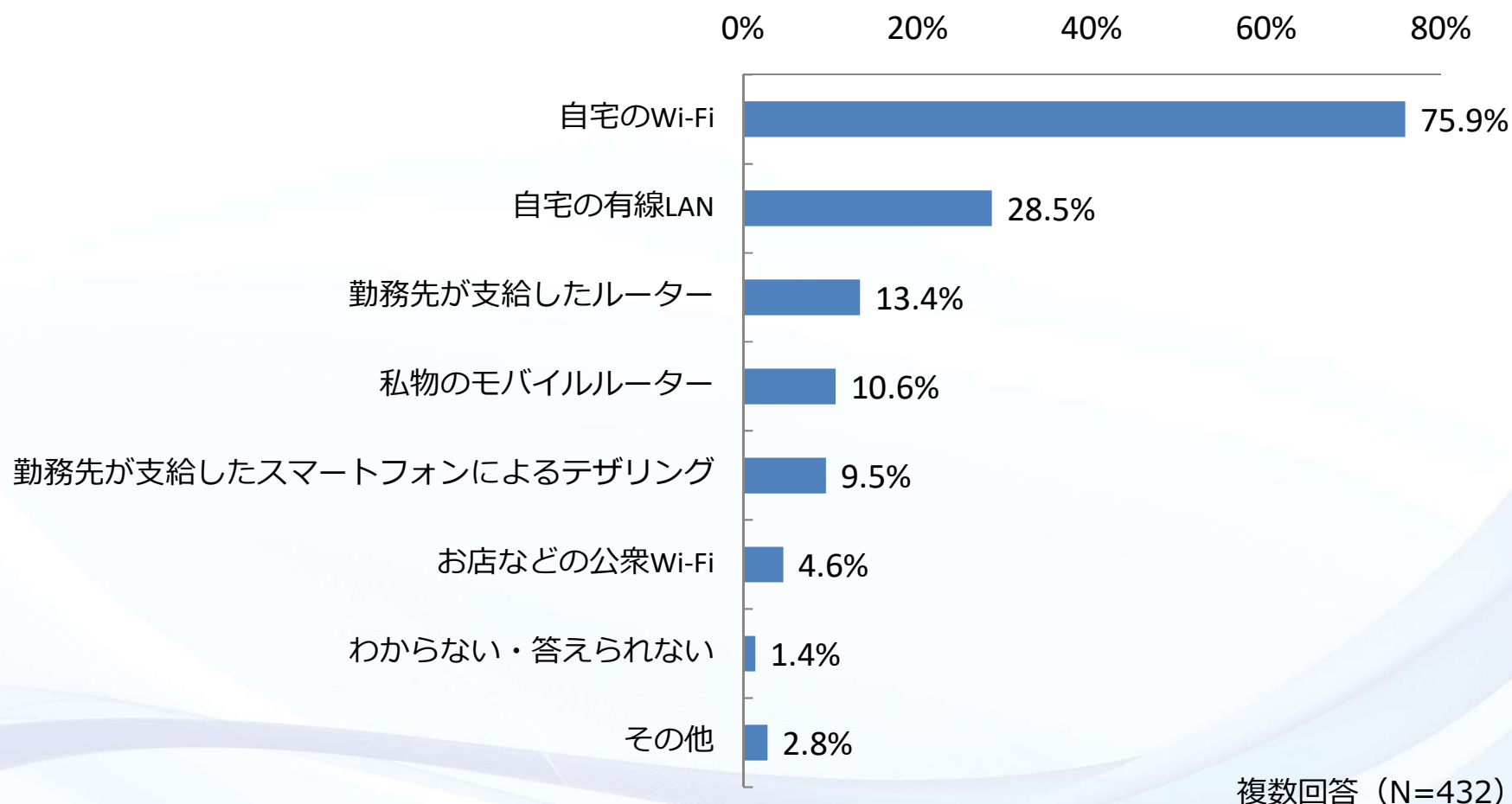
3. テレワーク時の端末の環境

「あなたがテレワークを行うときの端末の環境を教えてください。」という質問には、「個人所有のパソコン」を業務利用するという回答もあり、セキュリティ対策が十分行われているか、端末の利用ルールが規定されているかなども考慮しなくてはならない。



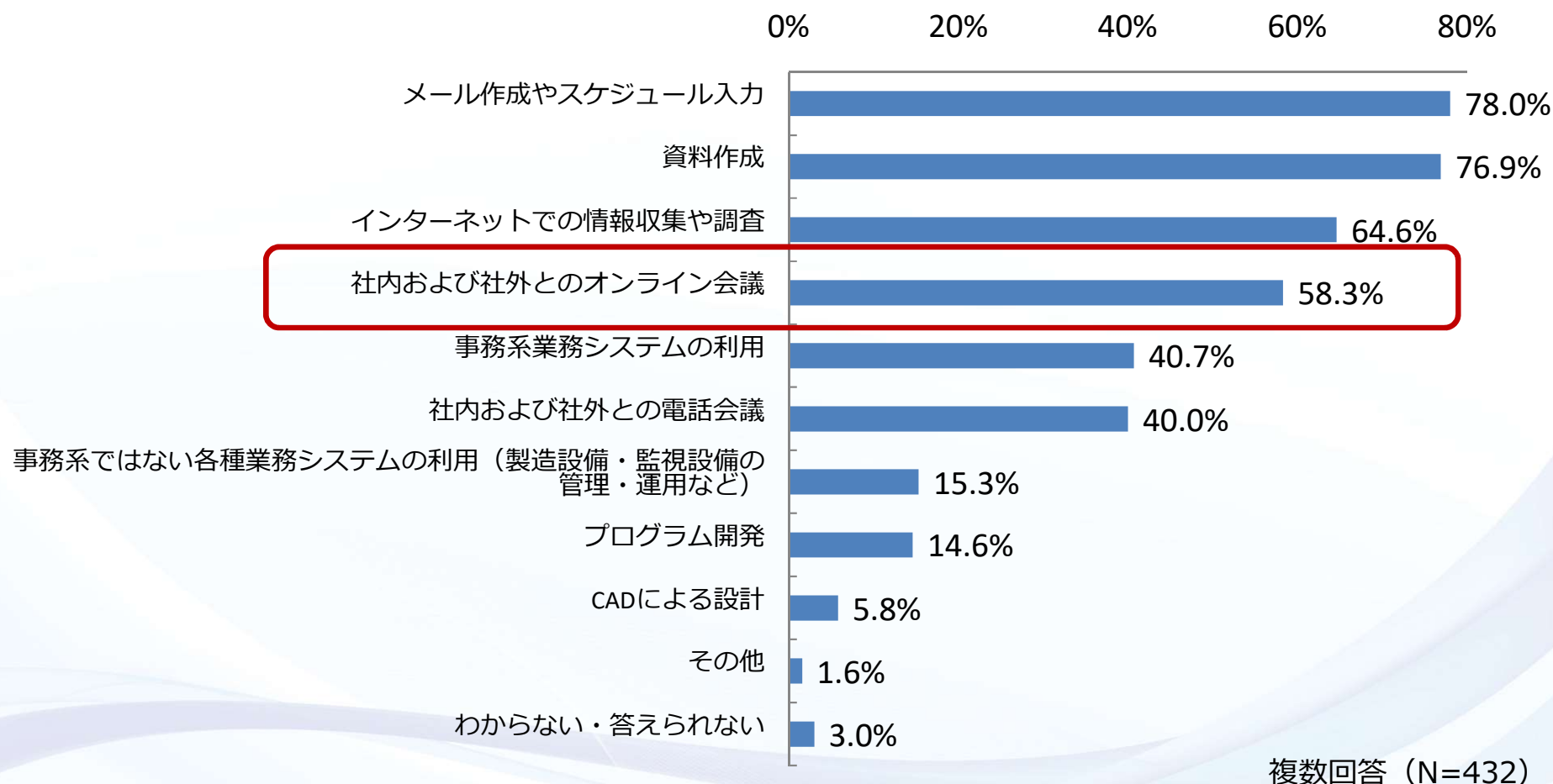
4. テレワーク時の通信手段

「あなたがテレワークを行うときの通信手段を教えてください。」という質問には、75.9%が「自宅のWi-Fi」と回答した。



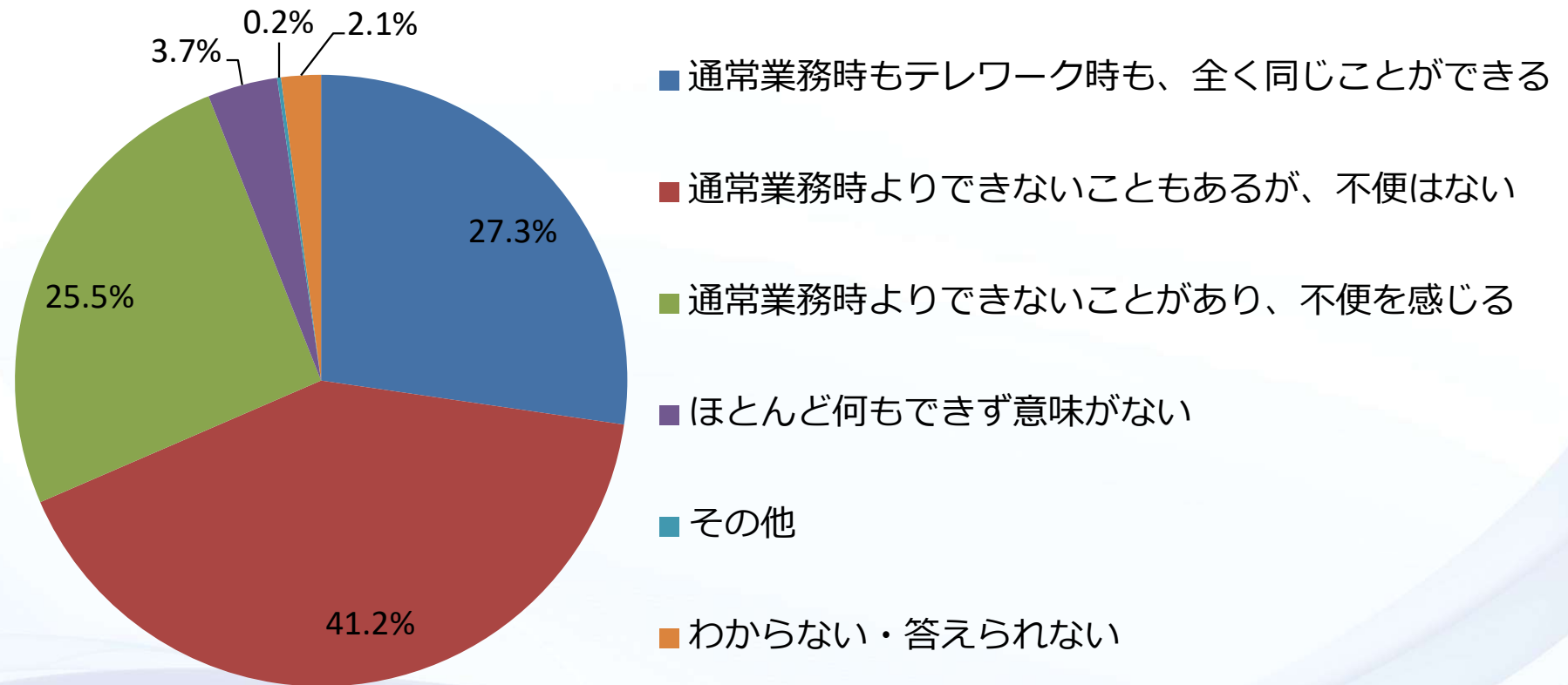
5. テレワーク時の業務内容

「あなたはテレワークのときにどのような業務をしていますか。」という質問には、約6割が「オンライン会議」を利用している。



6. テレワーク可能な業務と勤務先での業務の違い

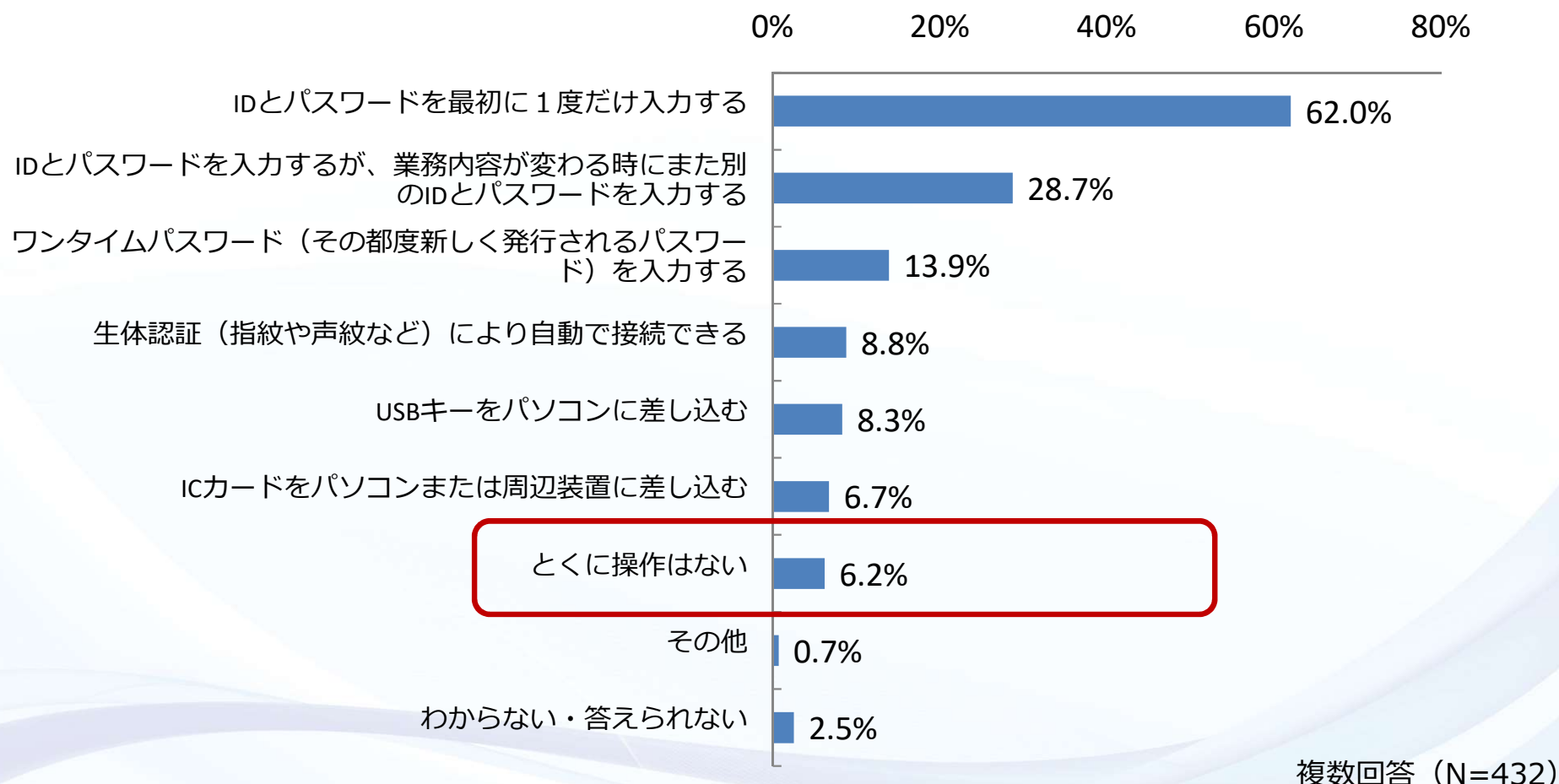
「あなたが現在テレワークで可能な業務内容は、勤務先へ出勤して実施する通常業務と同じですか、違いがありますか。」という質問には、27.3%が「全く同じ」、41.2%が「通常業務よりできないこともあるが不便はない」と回答した。



複数回答 (N=432)

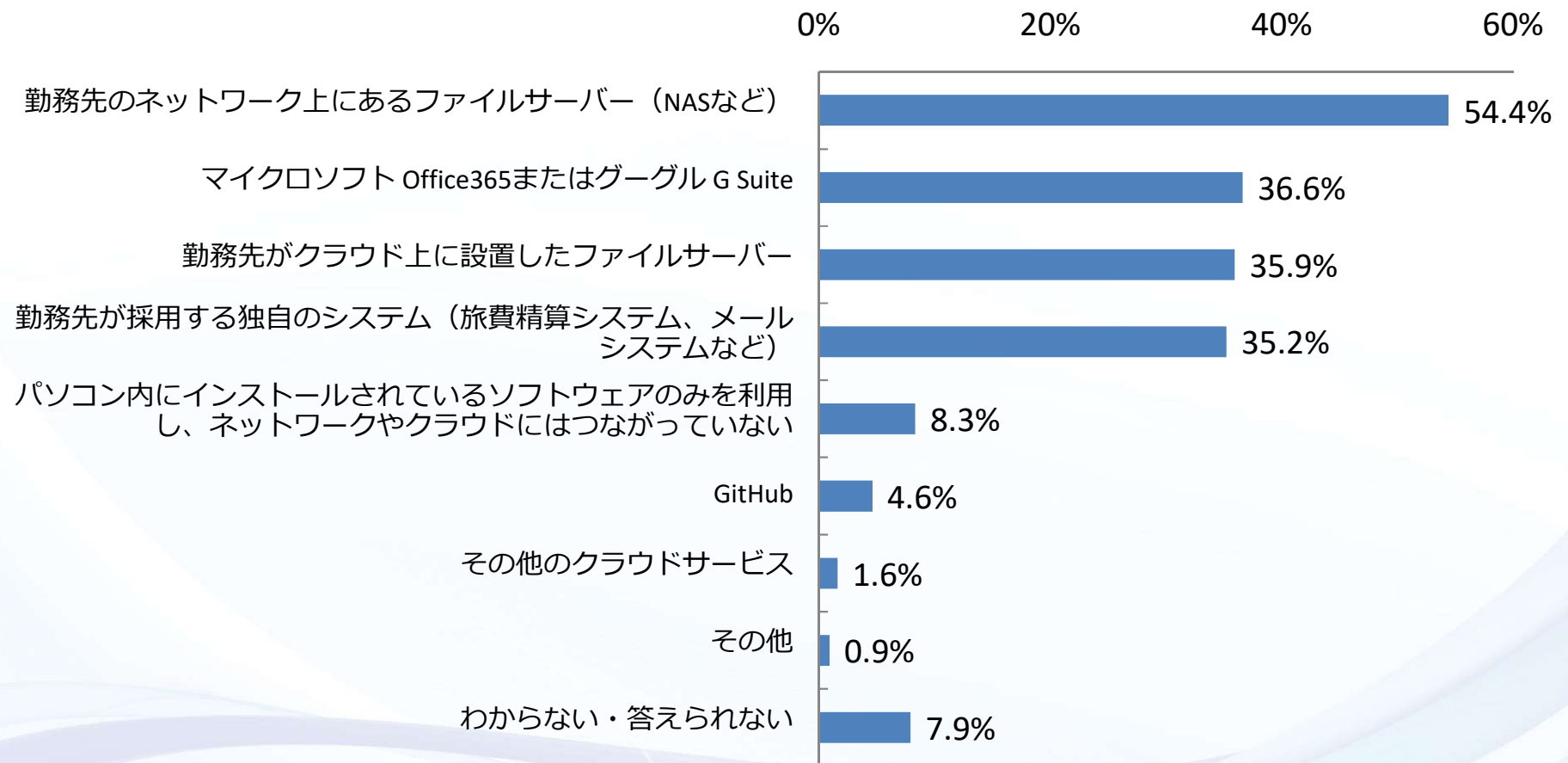
7. テレワークでの業務開始時の操作

「テレワークでの業務開始時、パソコンなどを立ち上げる際に行う操作をすべて教えてください」という質問には、大半が「IDとパスワードを最初に1度だけ入力する」と回答したが、「特に操作はない」という回答があった。



8. テレワーク時に利用するシステム

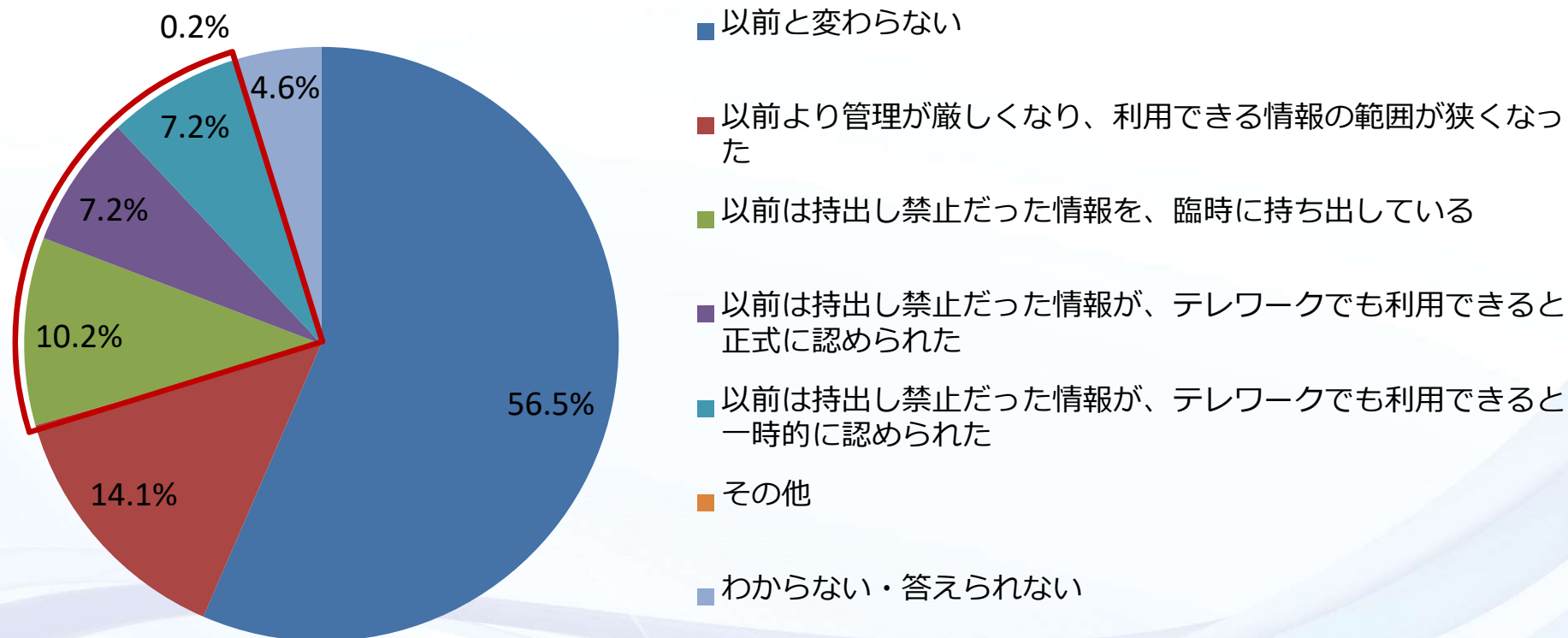
「あなたがテレワークで業務をするときは、どのようなシステムを利用していますか」という質問には、54.4%が「勤務先ファイルサーバー」、約35%がクラウドと回答した。



複数回答 (N=432)

9. テレワークでの機密情報の扱い方の変化

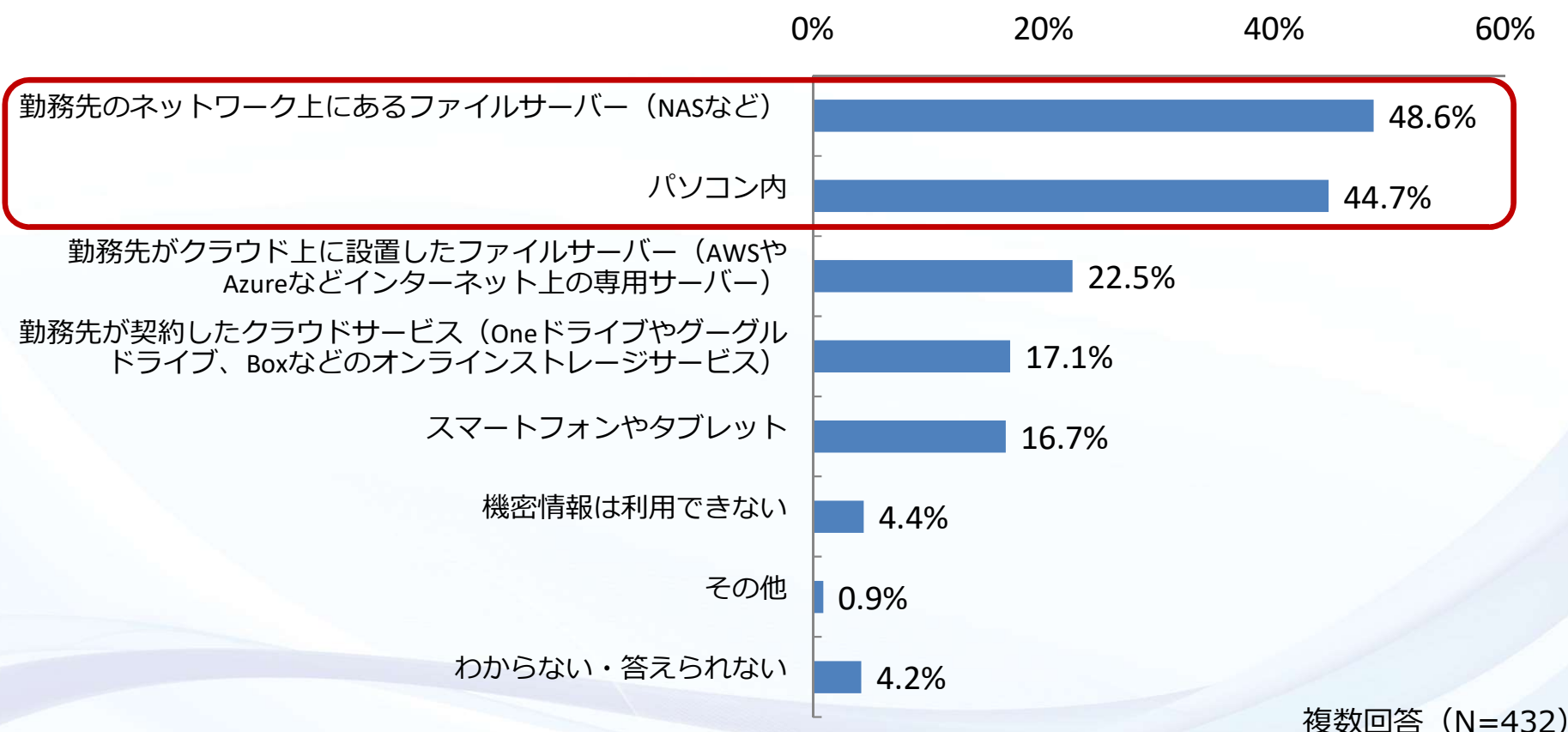
「今回の新型コロナウイルス感染防止のためのテレワーク推進をきっかけに、テレワークで利用できる機密情報の扱い方（管理方法や利用制限など）に変化はありましたか。」という質問には、「以前と変わらない」が半数を超える結果となったが、今回をきっかけに「以前は持ち出し禁止だった情報」を「臨時に持ち出している」もしくは「正式に認められた」「一時的に認められた」という緊急的な対応が見られる。



複数回答 (N=432)

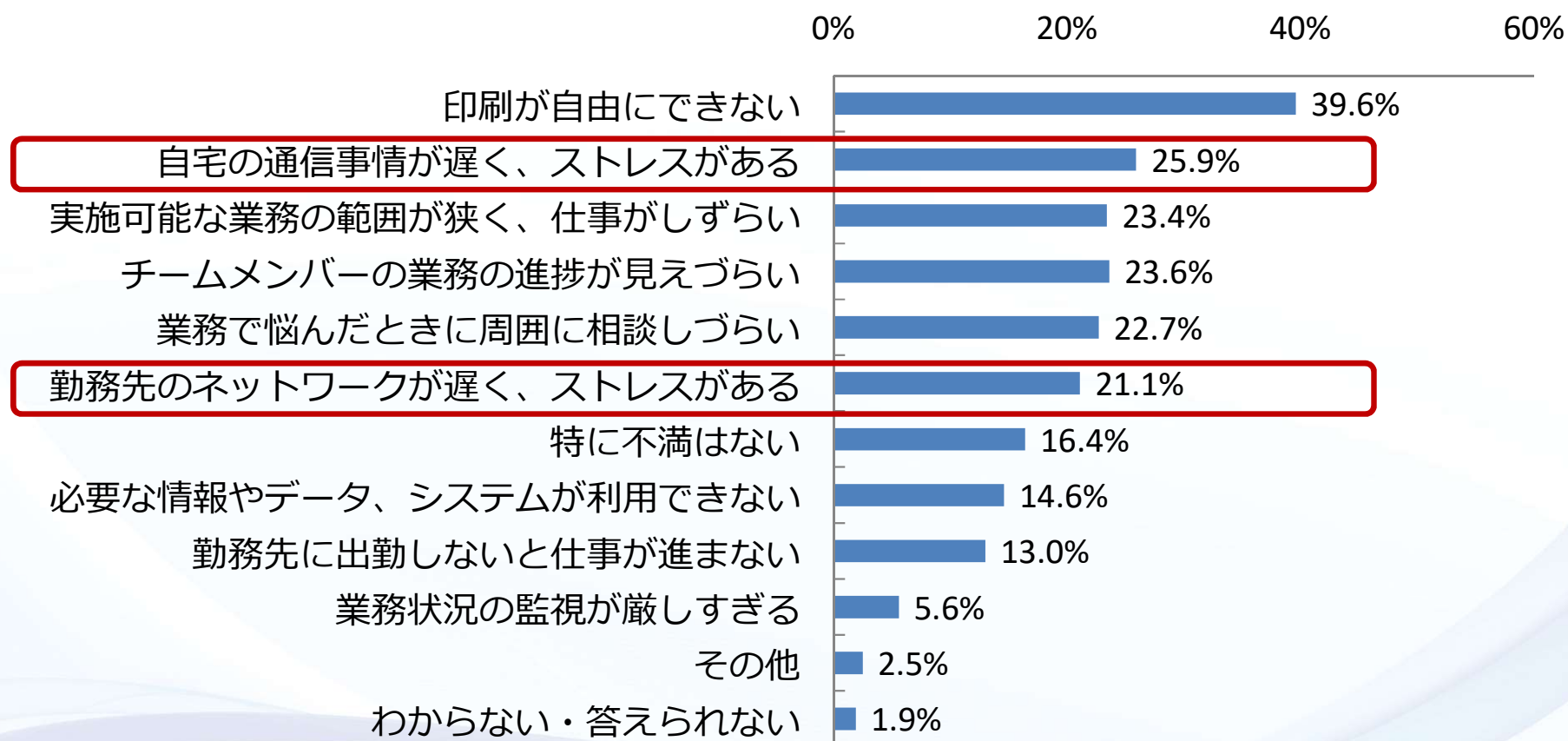
10. テレワーク中の機密情報の保管場所

「あなたがテレワーク中に機密情報を利用する場合、それはどこに保管されていますか。」という質問には、「勤務先のファイルサーバー」「パソコン内」が高い結果となった。



11. テレワーク環境に対する不満点

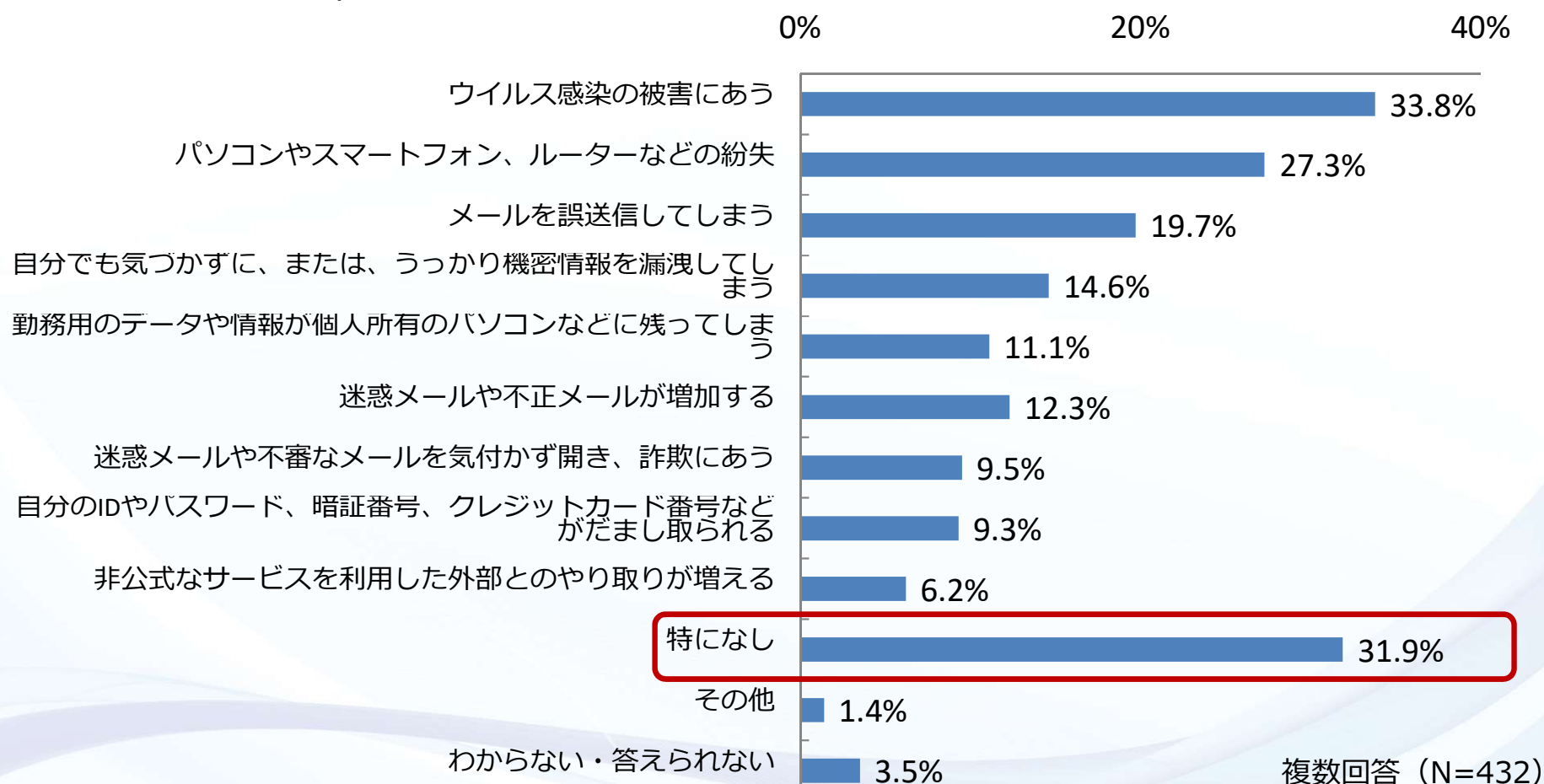
「現在実施されているテレワークの環境に対し、不満な点を教えてください。」という質問には、システムにかかわる部分としては「ネットワークの遅さ」が不満点となっている。



複数回答 (N=432)

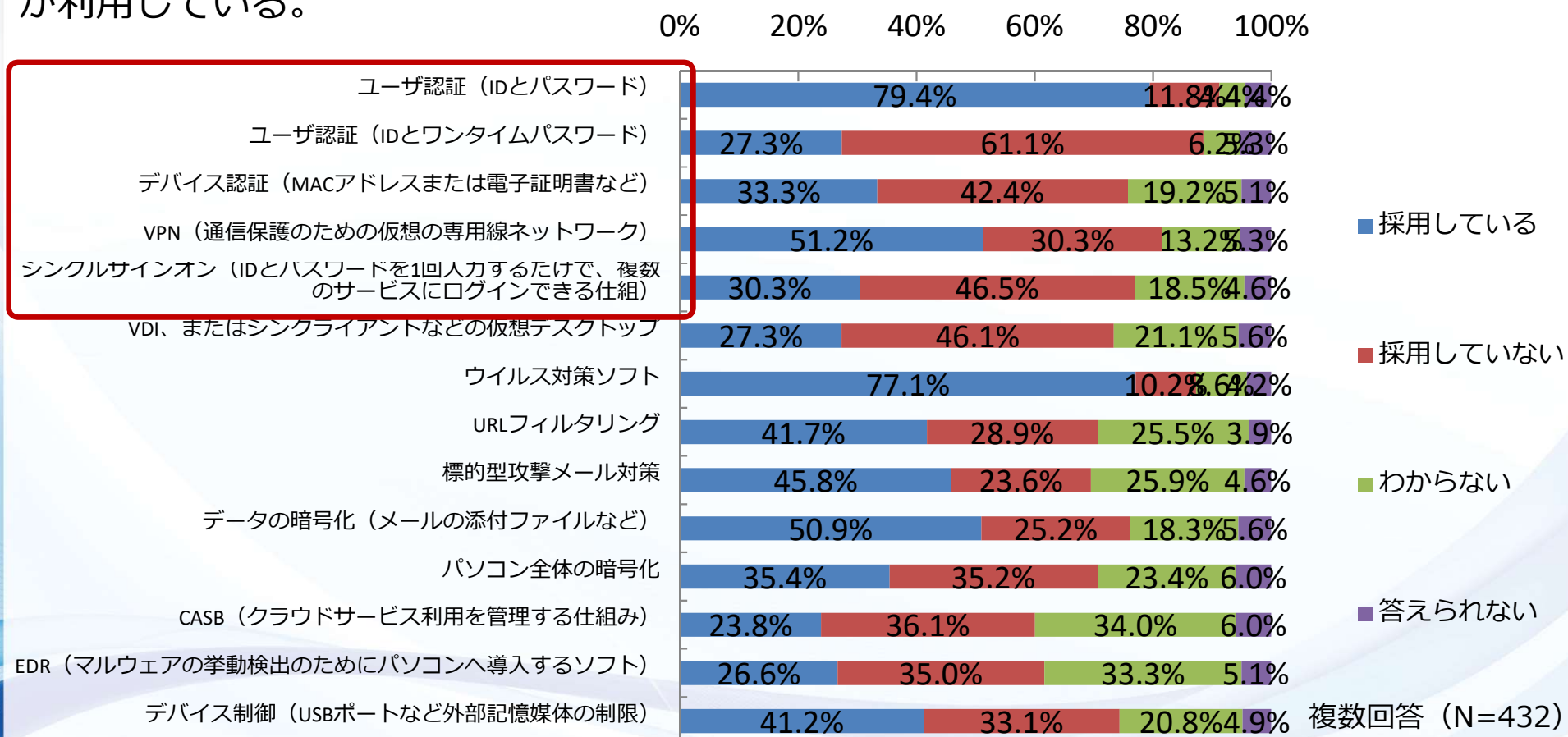
12. テレワーク時の情報セキュリティ上の心配事

「テレワークを行っているとき、情報セキュリティについてはどんな点が心配ですか。」という質問には、「特になし」の約3割については十分にリスクを理解していない可能性も考えられるため、情報セキュリティに対する意識向上が必要ではないかと思われる。



13. テレワーク時のセキュリティ対策

「テレワークに採用しているセキュリティ対策を教えてください。」という質問の認証方法については「ID/パスワード」が大半であり、「ワンタイムパスワード」「デバイス認証」は、3割前後利用している。また「VPN」は約5割、「シングルサインオン」は約3割が利用している。



まとめ

- 本アンケート調査では、新型コロナウイルス感染拡大防止にともなうテレワーク実施は、週1回以上が38%、「新型コロナウイルス感染拡大を機に」緊急的にテレワークを実施した回答者が半数を超える結果となった。

その結果からか「個人所有のパソコンの利用」、勤務先データを「USBメモリで持ち出す」「外部サイトにアップロードする」「何らかの方法で臨時に持ち出す」といった、情報セキュリティや端末利用ルールについて考慮されていない可能性がある。

- テレワークでの機密情報の取り扱いでは、「以前は持ち出し禁止だった情報」が、「正式に認められた」「一時的に認められた」という緊急的な対応が見られ、データの保管場所では、「パソコン内」という回答が多い結果となった。
- テレワークの情報セキュリティ上の心配事では、「特になし」の約3割については十分にリスクを理解していない可能性も考えられるため、情報セキュリティに対する意識向上が必要ではないかと思われる。
- テレワーク時のセキュリティ対策では、「ID/パスワード」が大半となり、「ワンタイムパスワード」「デバイス認証」は、3割前後利用している。また「VPN」は約5割、「シングルサインオン」は約3割が利用している。
- 今後もテレワークを実施する企業・組織が多くなると思われるが、データの取り扱い、機密情報へのアクセスにあたっては、情報セキュリティにおける「ルール規定」「認証などのセキュリティ強化」「セキュリティ教育」が必要ではないかと思われる。